

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第 54 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録

1. 日時 2019年1月17日(木) 13:00~16:30
2. 場所: JANSI 第1・第2会議室
3. 議事
 - (1) 出席者/資料確認
 - (2) 【審議】人事案
 - (3) 【審議】前回議事録確認
 - (4) 【報告】専門部会、標準委員会への中間報告結果
 - (5) 【審議】「原子力施設の廃止措置の基本安全原則:20XX」記載案
 - (6) 【審議】「実用発電用原子炉施設の廃止措置の計画:20XX」記載案
 - (7) 【審議】「実用発電用原子炉施設の廃止措置計画時の安全評価実施基準:20XX」記載案

配布資料

- R3SC - 54-1 人事案件(該当なし、未配布)
- R3SC - 54-2-1 日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第 53 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録(案)
- R3SC - 54-2-2 日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第 51 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録(案)
- R3SC - 54-3 「原子力施設の廃止措置の基本安全原則:20XX」の新規制定(案)
- R3SC - 54-4 「実用発電用原子炉施設等の廃止措置の計画:20XX」の改定(案)
- R3SC - 54-5 「実用発電用原子炉施設の廃止措置計画時の安全評価実施基準:20XX」の新規制定
(案)

4. 出席者: 岡本主査、松原副主査、田中幹事、青井、生駒、石原、岩田、梶谷、黒川、田村、
湊(仲田代理)、鳥居、深田、高塚(堀川代理)、目黒、水越、高橋(信)(中村代理)(17名)
-常時参加者: 杉村、天野、山岡、工藤、林(高橋(宏)代理)、路次
-説明者: 田中(伸)、上田、杉原
-聴講者: 上野、灰田

5. 議事

- (1) 出席者/資料確認
出席者: 委員 17 名の参加があり定数を満たすことを確認した。
- (2) 【審議】人事案
人事案件はなし。
- (3) 【審議】前回議事録確認
前回及び第 51 回の議事録案が承認された。
- (4) 【報告】専門部会、標準委員会への中間報告結果

表題の中間報告の結果について説明された。

(5) 【審議】「原子力施設の廃止措置の基本安全原則:20XX」記載案

R3SC-54-3 シリーズにより状況報告が行われた。以下のコメントがあった。

- ・4.1 節の記載について、安全原則、安全要件の記載内容を整理すること。
- ・以下のように章立てを変更すること。

4 廃止措置の目的（原案 4.1.1 及び 4.1.2 を下に記載）

5 廃止措置の基本安全原則として以下 14 項目を列挙

廃止措置の安全防護、廃止措置の労働安全、廃止措置の終了後の安全確保、グレーデッドアプローチ、リーダーシップ、廃止措置の方策、プロジェクト管理、廃止措置の計画、廃止措置の実施、廃止措置の終了、使用済燃料等の取扱い、放射性廃棄物の管理、廃止措置に必要な資金の確保、廃止措置における役割

- ・用語定義について、「事業者」の削除及び「使用済燃料等」の追加を検討すること。
- ・適用範囲に示す対象施設の種別に「特定原子力施設」の追加を検討すること。
- ・解説を作成し、本文修正案と共に、次回分科会 1 週間前に委員に示すこと。

(6) 【審議】「実用発電用原子炉施設の廃止措置の計画:20XX」記載案

R3SC-54-4 シリーズにより状況報告が行われた。以下のコメントがあった。

- ・附属書 A は 2011 年版を参考に見直した。
- ・専ら設備の記載を本文とすることについて検討すること。また、グレーデッドアプローチの実例の充実を検討すること。
- ・安全評価の記載について、安全評価標準との取り合いを検討すること。
- ・基本安全原則と同様、記載案を次回分科会 1 週間前に委員に示すこと。
- ・今回案への委員コメントをお願いします。期限：1 月 25 日

(7) 「実用発電用原子炉施設の廃止措置計画時の安全評価実施基準:20XX」記載案

R3SC-54-5 シリーズにより状況報告が行われた。以下のコメントがあった。

- ・本文 4 章のタイトルが長い。修正を検討すること。
- ・「潜在的なリスク」の定義を明確にすること。
- ・今後の専門部会等での審査のため、附属書 A を雑誌投稿すること。
- ・附属書 A を規定とすることについて検討すること。

(8) その他、スケジュール等

今後の日程は以下のとおり。

2 月 21 日(木) 13:00-16:00、次回分科会

以上